

「10人に1人が抱える難聴」～クラウドファンディング開始～

難聴ってそうなんだ！「聞こえづらい世界」の正しい理解を常識に

福岡市を拠点に活動を行う難聴の子を持つ家族会そらいろ（福岡市、会長：岩尾至和）は、「難聴の理解促進に向けた動画作成を目的としたクラウドファンディングを開始いたします。

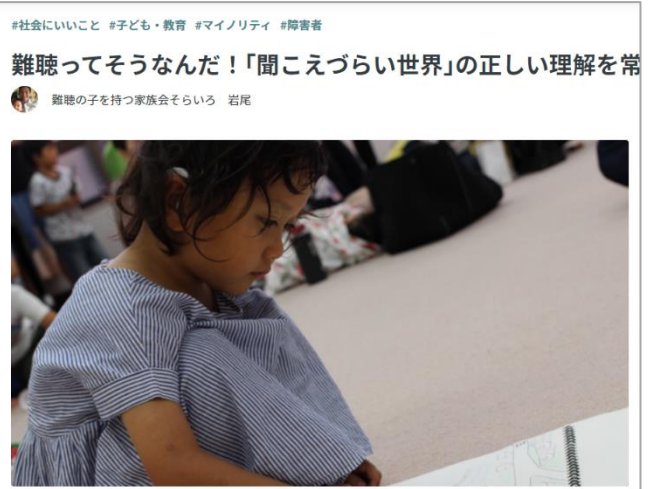
今年は新型コロナウイルスの発生により、難聴児の生活にも大きな影響が出た一年となりました。今もなお「マスク」の存在がコミュニケーションの壁になっていますが、設立から3年の活動を通じて感じるのは「難聴に関する圧倒的な理解不足」です。

難聴児が生まれてくる比率は1,000人に1人、さらに老年性難聴を含めると1,440万人以上の難聴者がいるというデータがあります(※1)。人口比率にして約11%と10人に1人以上が、若い世代（24歳以下）に限ってみても約2%、100人に2人が難聴と身近な問題にも関わらず実態はほとんど知られておりません。また、その多くが正しい情報ではなく「誤解」なのです。

本企画は「子どもから大人まで親しみやすい動画を作って、インターネット上で多くの人に発信することで“難聴に関する正しい理解”を広めていきたい」という想いが原動力です。今回この趣旨に深く賛同いただき、映像制作はKOO-KI(空気株式会社・福岡市中央区)、そしてその監修を福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻 平島ユイ子教授に力添えいただくことになりました。当家族会は定例会(※2)を中心として、難聴理解を広げる活動、難聴の障がい者認定基準の見直しなどを今後も展開してまいります。

(※1) JapanTrak 2018 調査報告 (http://www.hochouki.com/files/JAPAN_Trak_2018_report.pdf)

(※2) 【第17回定例会】2020年12月20日(日)の10:00~12:00、あいあいセンターにて実施予定



- ・実施期間：2020年12月15日～2021年1月25日
- ・URL：<https://readyfor.jp/projects/sorairo>
- ・内容：「難聴理解の初歩編」として、子ども～大人まで親しみやすいアニメーション動画（90秒程度）を制作（多くの人が気軽に触れられ、難聴者のことを理解でき、自然な配慮の促進につながる内容）。自由使用可・インターネット上の発信を通じ、難聴に関する理解を少しずつ社会に浸透させることで、難聴者がより過ごしやすい環境づくりを目指す。

■難聴の子を持つ家族会そらいろについて (<https://sorairofukuoka.jimdofree.com/>)

会長：岩尾 至和

所在地：福岡市を拠点に活動（2017年12月設立）

活動内容：幼い頃の療育～将来の就職までを視野に入れ、学び・娯楽・サポートの3軸にて活動

■KOO-KI(空気株式会社)について (<https://koo-ki.co.jp/>)

代表者：代表取締役社長 木綿 達史

所在地：福岡県福岡市中央区警固1-15-6 KH22ビル5F

事業内容：TVCM・WebCM・ゲームオープニングなどの映像制作事業／企画制作事業／アニメ・映画・アプリなどのオリジナルコンテンツ事業

【本件に関するお問い合わせ先】

難聴の子を持つ家族会 そらいろ：岩尾（いわお） e-mail：yukikazu_iw203@blue.plala.or.jp